

JUNGLIDO

1898 = 1992

1998年は創立100周年です

滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人/宇野 勝
 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会
 大津市膳所 2-11-1 TEL 0775-23-2304
 発行日/平成4年12月25日
 編集人/広報部会・谷口啓司
 印刷/有限会社服部印刷所

VOL. 1

CONTENTS

平成四年度総会報告	1
関東膳所高会に出席して	2
周年記念同窓会	2
クラブOB会	2
平成四年度部会活動報告	3
同窓会費決定!	3
座談会「膳所高気質」を熱く語る	4・5
恩師訪問	6
OB近況報告	7
膳所高NEWS	8
母校拝見	8

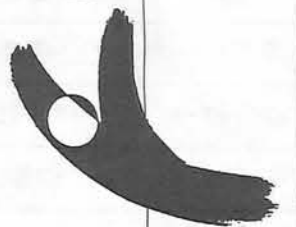
「JUNGLIDO」第一号発刊にあたって

同窓会会員の連帯を

同窓会会長あいさつ

膳所高等学校同窓会会長 宇野 勝

膳所藩遵義堂跡



同窓会会員各位には、ご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。かねてからご案内のとおり、わが膳所高同窓会も活性化にむけて、特に総務、広報、財務、事業、組織

の5部会がそれぞれ活発に活動を始めています。なかでも広報部会は、同窓会全員に行き渡る新しい会報の発刊を計画、その名を「JUNGLIDO（遵義堂）」と名付け、この度、復刊準備号に続く第一号を発刊していただく運びとなりました。会員各位のお力で、同窓生としての連帯感を強める媒体として、末永く愛されて読まれる会報にお育て下さい。

「遵義堂」はすでにご承知のとおり旧膳所藩の藩校で、明治三十年十二月にその跡地に膳所中が建設されたことや、昭和十年八月に就任された杉本一郎校長が、至誠遵義、自主力行を校是として掲げ、校歌もこの精神に沿って制定されて以来、この精神が継承されていることなどから、膳所高校同窓会報にふさわしいネーミングではないかと思えます。

また、財務部会では、総会での決議をうけて同窓会費の検討を重ね、別紙の趣意書の様な決定をしていただきました。会費徴収については、会員各位の

ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。その他の部会においても、それぞれ問題点の見直しをしていただいております。役員および各部会員のみならず方には、大変ご苦勞様です。

先月十月四日、活発に活動されている関東膳所高同窓会に出席させていただきました。当日のご出席は、約八十名で例年より少数とのことでしたが、大正十一年、膳中二十回卒業の吉川政春氏（八十七才）、や大正十二年、膳中二十一回卒業の西尾能仁氏など大先輩もお元気で出席され、ご挨拶の中で健康保持が人生すべての基礎であり、それにはまず歩くことであると話しされました。これは昔、膳中時代に病気の時以外は徒歩通学の励行を厳しく指導されたことにあり、現在も努めて歩くことにより健康であると強調されていました。小生もまったく同感です。

現在、野洲町長として最も重要な課題として取り組んでいるのも老人福祉関係ですが、いずれ誰にも来る老いではあります。歩くことにより健康な老いを迎えられると思います。

会員各位のますますのご活躍とご健康なご長寿をお祈りし、「JUNGLIDO」第一号のご挨拶とさせていただきます。

新入会員

「学生服をなつかしんで」



みなさんこんにちは。この度膳所高校同窓会誌「JUNGLIDO」第一号に原稿を依頼いただき光栄に思います。ところで同窓会員になるという事はどのようなことなのでしょう。新会員の僕にはもう一つピンときません。ただ確かなことは「膳所高で高校時代を過ごし、そして卒業した」ということです。簡単に書きまじが、一言で語り切れない様々なでき事がありました。

岡山大学工学部土木工学科一回生 安井 克豊

そしてその度、先生方をはじめ様々な方々にお世話になりました。特に先輩方には生徒会長であった時など助言をいただき無事行事をこなすことができました。サッカー班においても見事準優勝を果たすことができました。つまり僕にとって先輩方の存在はとてつもない大きなものでした。

ここで新会員の僕達にできることは「何かしよう」ではなく「一生、膳所高生であったことに誇りを持ち続けることではないでしょうか。その気持ちを忘れずにいたいと思っています。



平成四年度 総会報告



平成四年度同窓会総会は、去る五月十日、例年を大きく上回る一七三名の出席者を得て、新築成ったばかりの大津市生涯学習センター大ホールに於いて催されました。

宇野敏一副会長の開会宣言に続いて校歌斉唱、物故者への黙祷を捧げた後、宇野勝会長、南池宜樹校長、清水健至関東膳所高副会長の各ご挨拶。その後、前役員七名及び永年勤続者二名に対して感謝状贈呈が行なわれ、会場からも温かい拍手が送られました。会は引き続き議事に移り、飯田勝一常任理事長を議長として、会務報告・会計並びに会計監査報告・会則改正に関する提案が、満場一致の拍手をもって承認されました。また、宇野会長より行なわれたい会費徴収についての提案は、その基本方針が承認され、詳細については財務部会に委ねて慎重に審議を重ねることが確認されました。

引き続いて行なわれたい講演ではサンケイスポーツ新聞社の西田三郎氏に「プロとアマ」と題して、スポーツの世界の裏表に渡って興味深くお話しいただきました。そのユーモアあふれる講演に会場は和やかな雰囲気になりました。午後の懇談会への良き足がかりとなったように思われます。

今年には出席者も多く、世代を越えての交流がなされる光景は総会ならではのものと思えますが、一方で、若い人の参加の少なさを嘆く声も聞かれます。新組織の下、若い世代の積極的な参加に期待したいものです。（西川）



若手学生も活躍!

関東膳所高校に出席して



去る10月4日、関東地区膳所高校同窓会の第64回定期総会が、東京原宿の南国酒家迎賓館にて開催されました。地元からは宇野勝会長、南池宜樹校長のご両人と、現職係として筆者、また東2回卒谷省三氏、総数4名で、新旧一体に盛り上がった会の様子を見させていただきました。清水健至副会長の司会進行で、谷口会長がまず、「病氣入院の身であった私が、今なお会長の立場にあることは、先輩各位に加えて、若手学生諸氏のご活躍によるところが多く、膳所高校という同じ土俵をもつ有難さと感謝で一杯」とご挨拶され、出席者80名中、学生30数名というヤングパワーへのご配慮に関東膳高会の見習うべき体質をみる思いがいたしました。また、参加者最長老の、20回卒吉川氏の「歩くことが健康の秘訣」は共感を喚び、湖国への望郷の念を琵琶湖周航の歌に寄せつつ連帯の絆と再会を約束して総会を締めくくられた司会者他役員諸氏のお人柄に感服した次第です。
(藤田健三)



周年記念同窓会

30周年記念同窓会 昭和37年卒業(膳所高10回)

快晴に恵まれた平成4年11月29日、琵琶湖ホテルにて、南池校長をはじめ恩師、ご来賓17名をお迎えし、211名の卒業生の参加で盛大に行なわれました。記念式典のあと、パーティが約3時間にわたって盛り上がり、記念のテレフォンカードも皆様方のご協力でご完成、JUNGIDO紙に広告まで掲載することができました。懐かしさと楽しさのあまり「今後5年ごとの開催」を約束して短い一日が終わりました。当日の記念アルバムが平成5年5月頃発行の予定です。
(谷口)



40周年記念同窓会 昭和27年卒業(大津高3回)

平成4年9月20日午前10時より、膳所高校々庭にて、南池校長ご出席のもとに、中村武夫立木神社宮司を齊主として記念植樹が行なわれました。やまもも2本、まてばしい1本が中庭に植えられました。大きく育ち、緑の木陰をつくることでしょうか。引き続き12時より、大津プリンスホテルで257名の参加者で盛大に宴が催されました。中でも恩師の現況インタビュービデオ「先生お元気ですか」が上映され、昔なつかしいひとときを過ごしました。また、これにあわせて、記念誌が発刊され11月末に完成の予定です。
(宮崎)



膳中卒業50周年を迎えて 昭和17年卒業(第40回)

「草生す城は虚古れど...」青春の血潮を溢れさせつつ歌い、道義の道を行動で示した5ヶ年、今は懐かしい思い出として脳裏の奥深くに刻み込まれています。昭和22年より初めた同窓会、綿々と続けて卒業50周年を迎えました。「人間として生まれてきた意義と生きる喜びをみつめよう」を合言葉に「朋友は財なり」の意味が実感として受け取れる同窓会でした。
(本郷俊雄)



予告

昭和47年卒業のみなさんへ 卒業20周年記念パーティ

日時/平成5年8月14日(土) 午後2時

会場/「ロイヤルオークホテル」 会費/10,000円

多数のご出席をお待ちしています。本欄は、皆様の投稿欄です。連絡用にお使いください。

OB会OG会 組織の状況

体育部の巻1

現在、体育部関係のOB会は、各部とも現役に負けない積極的な活動を行なっています。未加入の方のご参加をお待ちしています。



種類	組織 図	会長 名	会員数	主な 活動 内容
野 球	野球部 O・B 会	岩見 一男 (中35)	約500人	総会・名簿・会報 (ZBOB)・定期戦
漕 艇	石鹿艇友会	平井 弘一 (中34)	約500人	名簿・会報 (漕艇通信)
陸 上	陸上部 O・B 会	松田 忠雄 (東4)	約400人	名簿・会報 (スパイク)
サッカー	サッカー部 O・B 会	山口 保久 (大3)	約350人	OB戦
ラグビー	ラグビー部 O・B 会	西田 幸雄 (大3)	約500人	総会・名簿・会報 (トライ)
バスケットボール	バスケットボール部 OB・OG 会	関口 英巧 (中41)	約430人	総会・名簿・会報
バレーボール(女)	バレーボール部 O・G 会	渡辺 史子 (膳34)	約75人	総会・名簿・練習会

祝・ JUNGIDO 第1号発刊

昭和37年卒業生一同 (膳所高10回)

1962 = 高 = 1992

あえてよかつた!

30周年記念同窓会

— 多数のご参加ありがとうございました。 —

JUNGIDO 第2号発行予定 平成5年4月

同窓会にかかわる情報をお寄せください。同窓会広報部会まで

同窓会費決定!

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

滋賀県立膳所高等学校同窓会 年会費納入のお願い



同窓会会員の皆様には、同窓会活動にお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。
この度の同窓会年会費の徴収につきましては、趣意書と振替用紙を同封させていただきました。その趣旨につきましては、充分にご理解をいただき、絶大なご協力を賜りたいと存じます。
下記に会費納入の要領をあげさせていただきます。会費納入には同封の振替用紙をご利用ください。尚、住所等に変更のおありの方は振替用紙の裏面にご記入をお願いいたします。
会員の皆様のご健康と一層のご活躍をお祈り致します。

記	
年会費	3,000円
5年会費	15,000円
10年会費	30,000円

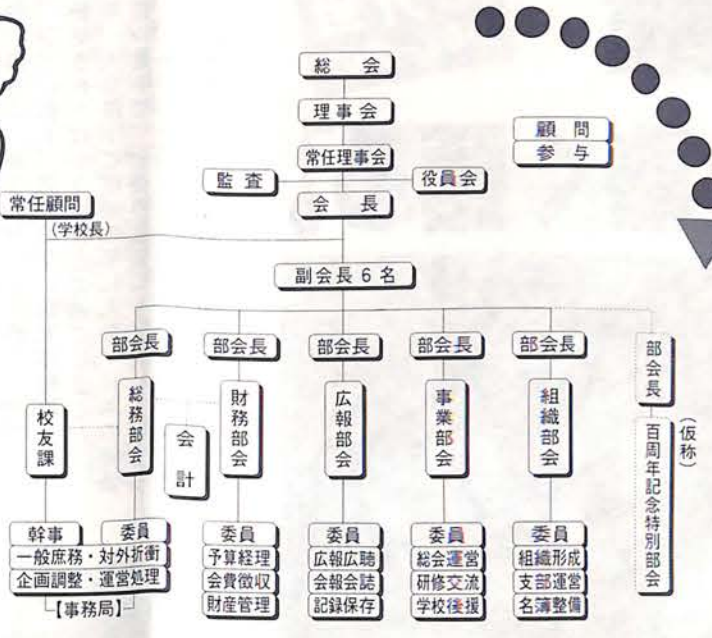
いずれかの会費を選択のうえ納入していただきますが、誠に恐縮ではございますが、できる限り、5年または10年会費の納入をお願い申し上げます。
新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみとします。

(納入機関) (振替用紙は共通です。)
郵便局 京1 30378
銀行 滋賀銀行 本店 (110) 普 913381
びわこ銀行 本店 (111) 普 335940
いずれも名義は、
滋賀県立膳所高等学校同窓会会長 宇野 勝 です。

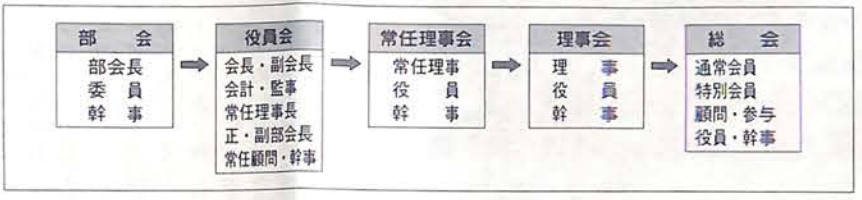
100周年にむけて活発な活動が始動しました。



【機構】



【会議】



平成四年度 部会活動報告

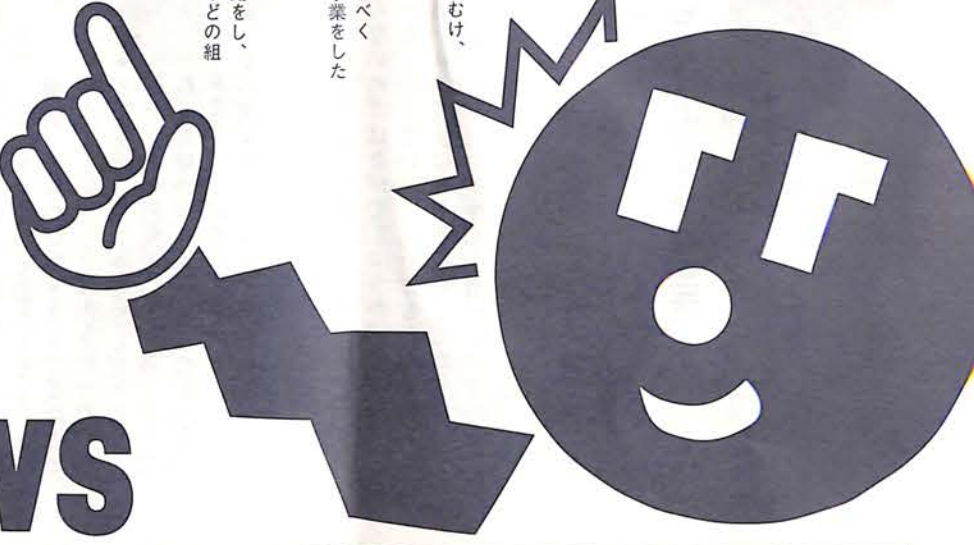
●総務部会
総務部は、学校と合同で事務局を形成し、事務局の補佐および調整に努力し、引き続き、内部固めに邁進いたします。

●財務部会
同窓会活動を円滑に進めるため、会費の決定、徴収方法について検討をかさねました。皆様のご協力をお願いいたします。

●広報部会
本年春、同窓会報「復刊準備号」六〇〇部を発行し、第一号を年内発行にむけ、たびたび編集会議を行なっています。

●事業部会
平成五年度同窓会総会にむけ企画立案をすべく鋭意検討中です。また財源確保のための事業をしたいと思います。

●組織部会
同窓会名簿をより正確なものにすべく活動をし、あわせて、各地膳高会、OB会、同期会などの組織の見直しを考えています。



事務局だより

12	11	11	10	10	10	9	9	8	7	7	5	4
3	13	11	27	26	1	24	5	28	23	17	10	24
広報部会	広報部会	第二回役員会	財務部会	組織部会	広報部会	広報部会	於 共済会館びわこ	第一回常任理事会	第一回役員会	広報部会	財務部会	同窓会事務所
同窓会事務所	同窓会事務所	同窓会事務所	同窓会事務所	同窓会事務所	同窓会事務所	同窓会事務所	同窓会事務所	同窓会事務所	同窓会事務所	同窓会事務所	同窓会事務所	同窓会事務所

Zezekeo News

祝・JUNGIDO 第1号発刊

昭和47年卒業 (膳所高20回) 御料理「文福」 小幡 功	昭和47年卒業 (膳所高20回) 有木田商店 専務取締役 木田比登志	昭和47年卒業 (膳所高20回) 株 桑清電設 代表取締役 桑村 清一	昭和47年卒業 (膳所高20回) 有立岡写真館 代表取締役 立岡 功成	昭和47年卒業 (膳所高20回) 大津市マル井(株) 常務取締役 田中 康雄	昭和47年卒業 (膳所高20回) 株 中西土建 代表取締役 中西(辻) 壮一郎	昭和47年卒業 (膳所高20回) 株 萩乃家 専務取締役 萩山 平	昭和47年卒業 (膳所高20回) 株 建築事務所BCY,S 専務取締役 山本 勝義	昭和47年卒業 (膳所高20回) 金田医院 金田(噺) 義子
-------------------------------------	--	---	---	--	---	---	---	--------------------------------------

■「お名前広告」募集しています。
掲載内容/卒業年度・卒業回
勤務先・お名前/一枠一万円
お申し込みは同窓会広報部会まで。

時代が変わっても、その伝統は変わらない。

榎本 本日は、楽しい企画でお集まりいただきましてありがとうございます。母校の94年を振り返り、大先輩から若い同窓生までのみなさま方にその時代の思い出を気楽に語っていただきます。その中で本日のテーマ「膳所高気質」が浮かび上がって、これほど願っています。そして現在在学、更には将来の膳所高生へのご希望などがあれば望外の幸せと存じます。同窓会が担当いたします。よろしくお願いたします。

堀江 大正時代ですべてにおいてスパルタ式でした。ドカンと堤寛校長が詰襟服で天津駅近くから学校まで歩いて通ってられたのが印象的でした。朝出会うと生徒は全員脱帽して挨拶しましたが、今は雲泥の差です。

本城 入学当時は支那事変、そして大東亜戦争、終戦の年に卒業。戦争の真只中で耐え生活して。印象強いのは大詔奉戴日(開戦の12月8日を記念して毎月8日)には、どんなに寒い日でも運動場で立つたまま塩めし弁当を食べたこと。朝礼後、乾布摩擦を「天突体操」を100回したことです。古い木造校舎で階段もベコベコに擦り減って下の職員室の先生の弁当に水漏れさせて怒られました。古く、生活面では落ちつき生徒ものんびりしていました。校舎の傷みはこれ極まりという感じ。穴だらけの腰板、ひどい廊下、窓枠のない雨天体操場。...

堀江 新築されたばかりの校舎で過ごしました。昭和34年、天皇陛下ご成婚の年に入学。日本の経済成長の真只中で、生徒の意気にも反映して、でも、通学時の草津線にはまだ戦争の名残がありました。でも、やみ屋の大きな米袋に占領されたすしつ

成木 今も渡辺さんの頃の校舎です。傷みのひどくなった第2東端部校舎が約30年振り白壁に補修され明るく改装されました。

ゴーチョ、ブロン、おに村

榎本 あの時、非常に優秀な先生方に恵まれた思いがします。松山先生をはじめ、袴姿の山本先生、石井先生、波多野先生、数学の中山先生、...

渡辺 生徒もよく勉強しましたが個性のある面白いユニークな先生方がたくさんいらっしゃってお互いに通い合うのがあった気がします。

堀江 授業を脱線して自分の文学ばかり話している先生もおられました。

渡辺 本名は忘れてもニックネームで記憶にのこっている先生も多いですね。ゴーチョ：波多野先生、お花ちゃんブロンこと松尾先生、お茶づけの。榎本：中井先生、ニックネームを聞けばあった先生の先生という感じ。本名は忘れてもニックネームがずつと受け継がれているのですね。

今井 除でおに、おに村と呼んでいた現国の厳しいこわい先生がいました。緊張で凍りついた1時間でした。セーラー服に憧れて入学したのですが授業が始まった途端、落ち込んで。現国に関しては、みなで論議し、すごく勉強しました。国語は今でも好き。小栗 化学の先生は威厳があったせいか緊張の中に

「膳所高気質」を熱く語る。



- 出席者(敬称略)**
- 80歳代 堀江 康彦 (膳中 23回卒)
 - 60歳代 本城 博一 (膳中 43回卒)
 - 50歳代 榎本 鐵夫 (東高 4回卒)
 - 40歳代 渡辺 敦子 (膳所高 10回卒)
 - 30歳代 今井 美幸 (膳所高 28回卒)
 - 20歳代 榎野 遼男 (膳所高 30回卒)
 - 20歳代 小栗 千寿留 (膳所高 31回卒)
 - 20歳代 成木 恵 (膳所高 37回卒)
- 1992年10月25日(日) 14時~16時 於・三井寺「和風れすたらん風月」

榎本 はくは、応援団長として京都、神戸、奈良あたりまでいきました。野球はまだ京滋大会があつてどうしても勝てなかった。昭和31年3月選抜で甲子園出場。バスを何台も運んで応援に行きました。延長戦で中京商業に1対2で惜敗。その中京商業が優勝。もう少しうまくいったら...。残念でした。

今井 昭和52年夏の甲子園出場で応援に行きました。全国的に有名になったあの18対0です。出場が決まって急遽チャ・ガールを募集。練習も応援ももう盛り上がり。おかげで校歌はすっかり覚えられました。帰りのバスは本当に悲しかった。スクールカラーの紫も暗い感じで...

榎野 18対0の翌年、その野球部に憧れて膳所高にきました。(笑) 電車の中で校名入りの野球のバッグを担いでいた。「甲子園どうやったあ」とよく茶化されました。炎天下の練習：厳しかった！小栗 18対0の後、マネージャーとして入部。広くない運動場で野球、陸上、サッカー、ラケットなど他のクラブもごちゃごちゃに練習しているのが打球が飛んでくるとヒヤヒヤ。他の部もレベルが高くパワーがあった。施設がすべてではないと実感しました。榎本 体育祭 競技場でのポーター祭も盛んでした。前夜から泊まり込みで準備したり。ポーター部は団体に出席。体操、ヨット、陸上など体育方面の強い時代でした。女子の数も増えてソフト・ボール、バスケットなども活躍してました。

渡辺 女子は体操部が活躍しました。体育祭は盛大で仮装行列は準備に凝ってクラス単位で競って楽しかったですね。

小栗 私たちも学園祭はすごく盛り上がりました。一つの目標に向かって勉強そつちのことで、夏休みも返上してがんばりました。その時にできたクラスの結束の強さは卒業後にも及んでいます。

成木 平成元年から学園祭は7月になりました。みなが一つになつてという言葉どおり一生懸命。勉強以外にもものに打ち込めたことは勉強にもプラスになりました。

渡辺 最近学園祭を見にこられる保護者が増えました。マセゲームが好評。私も何度か見ましたが素晴らしい。後夜祭も実現。3年生は最高に盛り上がり終われば「勉強！」です。

今井 ポーター、ヨットは団体出場。体育祭が強かった。私は演劇部に所属し予算の少ない他の文化班、新聞班や放送班と仲良く、小人数ですがごんぱりしました。がんばった後はよく勉強しました。

成木 ポーター、ヨット、バスケットが強かった。部活を真剣にやっている人は受験期になると勉強にも一生懸命。両立できるのですね。

榎本 一つのことに打ち込むことが勉強するとき生き力となるのですね。

渡辺 2年間PTAの会長をして最後の膳所高を身近に見てきました。運動班だが班活動が本場に活発です。運動班だけではなく文化班も。日本学生科学賞で物理地学賞は毎年のように化学賞も近年は入賞、入選。放送班、吹奏楽班、美術班など活躍しています。準備されている学校増や私学志向の中で、進学校と評価されている膳所高が他のところでもごんぱりしていること、親に他の生徒にとつてもいいことだと思います。

人生にとつての膳所高

榎本 人生のある時期を過ごした膳中・膳所高は自分の人生にとってどういう意味をもつか、また現在の更には21世紀の膳所高生たちへの希望を包括的に話

1時間が終わって、今井さんと逆で化学が嫌いになりました。(笑)

榎野 予習をしないで怒られたときは本当にこわかった。でも生徒は慕っていました。授業が抜群にうまかった。平均点スレスレの生徒でもキツチリ見守りあと後まで覚えていてくださいました。

小栗 若い先生が増えて、授業以外で相談のついでにただ楽しみたい意識ある青春の1ページでした。クラブのために学校にきています。そういう青春の過ごし方があるといいと思います。という私に「そうか、それならがんばれ！」と言われた先生の言葉が印象的で今の人生においても励みになっています。成木 やさしい先生が多かった。でも予習していないと真面目に怒って厳しかった先生もおられました。

自由な中で自ら学ぶ

小栗 外見とは違って無理やりに勉強させられない学校、自由な中で個性が生かせる楽しい学校でした。榎本 校則はあったらよろしく意識しなかつた。自由でのびのび。先生もうるさく言われなかつた。

榎野 1年の中間テストで受けたカルチャーショックは大きかった。バランスの感覚の良さがありました。高さもそこにあつたと思う。バラン

今井 だからいろんな個性豊かな人がいました。榎本 画一化されていない。時代が変わってもその伝統は変わらないではないでしょうか。今井 変わらないという先生方も長く在籍されてましたね。林浩校長は16年間校長でしたものね。渡辺 最近、10年毎に先生の交替があつていわゆる「膳所高の先生」というイメージはなくなってきました。

本城 これからは時代のうねりの中で「膳所高」を作っていくことが大事です。同窓会からも今の先生方をお願いしたいものです。

今昔も盛り上がる学園生活

本城 排球・籠球そして滑空班といったグライダー班もありました。野球は、まだ京滋大会がある頃で宿敵の平安中学には在学中に勝てなくて今も心残りです。応援はすこかつた。

堀江 本城に懐かしい。是非とも同窓会を執行してほしい。医者の立場からですが、今、学校で性教育を具体的にしていたらいい。健康に90歳、100歳までも長生きしていただきたい。

本城 膳中・膳所高は心のふるさとです。芭蕉に「不易流行」という言葉がありますが先輩方、先生方が築きあげてくれた「不易」の部分を大事にしながら我々を含めた後輩たちが変わっていく現代をどう謳い上げていくかが21世紀のテーマでしょう。渡辺 勉強する面白さを学べたところだと思います。進学のために中学から私学志向という最近の風潮の中で、膳所高の伝統の良さ、人が集まり自ら学ぶという雰囲気大切にしたいと思っています。

今井 今も友情が続いている友人たちに出会えたところ。膳所高での出会いを大切にしたい。新しい文京地区として注目を集めている膳所という地域の良さを卒業生にも将来の膳所高生にも知ってほしい。現在の膳所高生には「美富士」食堂や「もろ」商店から足をのばし地域を楽しんでほしい。

榎野 進路が決定できないあの時期を、受験を目的とした私学と違って進学(大学)選択においてもフリーでニューラルな膳所高で過ごしてよかった。その大切さを生徒も先生も認識し、将来の人生に向けて積極的にウォーミングアップしてほしい。

小栗 よき友にも恵まれ自分の好きなことをして自分が発揮できたところ。自由な中で積極的に過ごし、健康に世界に羽ばたいてほしいと思います。

成木 「校章」をつけるという最小限の規則があつたが生徒の自由意志・自主性を信頼される学校で学べてよかった。よい伝統を守ってほしいと思います。

榎本 多感な時代を膳所高で過ごせたことは意味あることだった。今は、ただただ懐かしい。今後も自由の中に責任を感じ自主性をもち行動してほしい。

みなさまには長時間にわたりお話しただいてありがとうございます。みなさまのお話からうかがえますように「膳所高気質」とは自由な校風の中で勉学であれ部活動であれ、自分の目標に向かって自主性をもちて全力で打ち込み挑戦していく気風、精神と言えるでしょうか。この伝統を受け継がれ母校がますます発展することを祈りたいと思います。今日は、同窓会報の第1号の記念企画として本当に楽しい座談会ができました。みなさまのご協力ありがとうございました。

自由な校風の中で絶え間なく挑戦する精神。

祝・JUNGIDO 第1号発行

膳所高等学校野球部OB会

会長 岩見一男 (昭和12年卒業 膳中35回)

JUNGIDO 第2号発行予定 平成5年4月

同窓会にかかわる情報をお寄せください。同窓会広報部会まで

祝・JUNGIDO 第1号発行

昭和20年卒業(膳中43回) (株)岩崎栄次郎商店 代表取締役 岩崎 栄三

昭和27年卒業(天津3回) 専務取締役 岩崎 金三

昭和20年卒業(膳中43回) 重永医院 院長 重永 正之

昭和20年卒業(膳中43回) 代表取締役 松村 富雄

昭和28年卒業(天津東1回) 取締役社長 西川 研一

昭和28年卒業(天津東1回) 大溝工業(株) 取締役社長 阪田良之助

昭和43年卒業(膳所高16回) 代表取締役 宇都木公一

昭和43年卒業(膳所高16回) 専務取締役 星山 永基

昭和43年卒業(膳所高16回) 代表取締役 今堀 定治

昭和53年卒業(膳所高26回) (有)アーキタイプ設計事務所 代表取締役 吉田 稔

昭和53年卒業(膳所高26回) 園城寺 三井寺 執事 福家 紀明

恩師訪問

松山義夫先生



今もなお、膳所高への
想いは尽きず……。

松山義夫先生略歴
 ・昭和21年9月/京都帝大文学部卒業
 ・滋賀県立膳所高等学校教諭
 ・同教頭・同9代校長
 ・同11代校長
 ・昭和56年秋/文部大臣表彰
 ・現在/滋賀県教育委員 他

菊薫る秋晴れの昼下がり、文教地区の名にふさわしい瀬田の閑静なお住まいに松山先生をお訪ねしました。ご在職の時と少しも変わらぬお元氣な先生がにこやかに迎えてくださって、思い出や膳所高生の氣風などについて、率直な考えを熱心にお話してくださいました。

膳所高におられて、生徒の氣風などについてお感じになられましたことは。

「生徒の氣風には、旧制高校の生徒を思わせるところがありましたね。私だけの感じなのかと思つていましたが、第七代校長の原山先生が同じことをおっしゃつたので、私一人の主観的な見方ではなかつたと思つています。学問というものを何となく知つていてという感じでしたね。」

膳所高の特色などについて、特に印象に残つておられることは。

「素晴らしい高校だと言ひに尽きると思つます。ところがその素晴らしい膳所高が案外誤解されてい

ます。膳所高は生徒のほぼ全員が大学進学を望んでいるのですから、進学校と呼ばれるのは当然です。進学校は進学指導をやらなければなりません。それをやらなければ、生徒や親御さんの期待に応えられませんからですね。しかし、そのことによつて、膳所高は予備校化している、という声が出てくるのです。残念なことです。

現在の受験体制に問題があり、そこから教育上の弊害が生まれていることは事実ですから、認めなければなりません。進学指導と、受験指導、あるいは受験対策とは、無関係ではないでしょうが、おのずから別のものですよ。

進学指導とは、生徒たちが大学に入った時、大学の学問に耐えられるだけの基礎学力、氣力、体力、そして道徳性を、高校で身につけるように指導することです。高校本来の使命と矛盾しないと思つます。

そういう指導は、入学の日から始まつています。このことは、先生方もよくわきまえておられて、私を支えてくださいました。



で、膳所高としては心外なことでは。大学進学を教育的悪だとする理由はどこにもありません。それは本人にとつても、世の中にとつても幸せなことだと思つます。」

膳所高が特に優れている点は。

「個々の生徒にはいろいろな思いがあるでしょうが、全体としては、学校は学びの場であることを、生徒たちがよくわきまえていてくれることでしょう。思いがけぬ時、思いがけぬ人からそのことを言われて嬉しかったことが何度もありました。例えば昭和五十六年の夏、ミシガンの教育使節団が滋賀県にみえました。その時、団長であつたランシング・コミュニケーション・

カレッジの学長のギャノン先生が、膳所高の生徒と対話したいということで、夫人と一緒に訪ねてこられました。

団としての訪問ではなく、個人的な希望というところから、学校に居合わせたESSの生徒にお相手をしてもらおうと思つたのですが、夏休みで人数があまり多くなかつたので、学校の近くで、折よく家にいた生徒にも出席してもらい、およそ一時間半ほど対話の席を設けました。

話題は、膳所高の学校生活や、生徒たちの将来の希望などの、ごく普通のものでしたが、ギャノン先生ご夫妻は、喜んで帰られました。

対話の後での、ギャノン先生の感想の中に、「この生徒諸君は、たしかに高校生にちがいないが、高校生以上のものを持っていますね。どこかちがつた趣がある。」という意味の言葉がありました。

社交辞令の要素は勿論あつたでしょう。そうして、アメリカの人はほめる時の表現が大げさだという話も聞きますから、そのあたりは考えなければならぬいでしようが、私には、かつて原山先生がおっしゃたのと共通した印象を、ギャノン先生も受けられたのだと思つて、校長としては、心の支えを得た氣持ちでした。」

教育の信念を熱心に語られる先生のお顔は自信に満ちて、とても輝いて見えました。「ご趣味は。」とお聞きすると、「音楽鑑賞というよりも、レコード鑑賞ですね。」とおっしゃつて、とつておきの手回しの蓄音機をもつてこられ、往年の名ソプラノ歌手関屋敏子さんの美声を、ミラノ楽団演奏の貴重なSP盤で「故郷の廃家」を聞かせてくださいました。

先生は昭和五十六年の秋には文部大臣表彰受賞の榮譽をうけられました。このような立派な先生に指導いただいた私たちはほんとうに幸せだつたとしみじみ感じました。(佐田)

同窓生投稿欄

母校へ圖書を贈る運動についての提案

膳中第36回卒業 大阪市大名堂教授 小林 博

先日母校に圖書を寄贈した機会に圖書館を見せていただきましたが、規模が小さく、生徒総数600人弱だつた50年前の膳中時代と殆ど変わつていないこと、開架展示されている圖書が古く新刊書が目立たないことに驚きました。そこでいろいろ考えた結果、「母校に圖書を寄贈する運動」と「仮称(石鹿文庫)(卒業生文庫)を新設する運動」の2つの提案をいたしたいと思います。事業部の方で検討いただければ幸いです。

祝・JUNGIDO 第1号発刊

昭和29年卒業 (大津東2回) きもの袴かわさき 川崎利三郎	昭和29年卒業 (大津東2回) (株)藤井大丸 取締役 中川 光男	昭和29年卒業 (大津東2回) 西山木材(有) 代表 西山 博	昭和29年卒業 (大津東2回) (株)大忠堂 代表取締役 森本 章	昭和29年卒業 (大津東2回) 割烹・紅梅 代表取締役 谷村 圭一	昭和29年卒業 (大津東2回) 吉川医院 院長 吉川 治 昭和36年卒業 (膳所高9回) 吉川 奎子	昭和29年卒業 (大津東2回) (有)オリエント保険サービス 代表取締役 浅井 光生	昭和29年卒業 (大津東2回) (株)井野屋 代表取締役 井上 和夫	昭和29年卒業 (大津東2回) ギャラリー一草 代表 山本美智恵	昭和29年卒業 (大津東2回) 東 二 会
--------------------------------------	--	--	--	--	---	---	---	---	--------------------------

★「前会長」お世話になりました。

40余年の同窓会役員 岩崎栄三さん

昭和20年卒業（膳所高43回）

「風のごと水のごと年来たり去る」今年9月に満65歳を迎え、年金受給者になった今、静かに過ぎ去った熱き日々を振り返っている。大津で三代続く商家の長男に生まれ、跡取りとして商業高校に行く予定が、小学校の先生の強引な薦めで膳所中に入学した。予科練入隊の友人と花街で涙して別れ酒を飲んで停学を喰ったり、在学中はおよそ考えられる限りの悪事をやらかした。「商売に大学は不要」という父親は、法学部に進みたい私の希望を「家業を継ぐ」条件付きでやっと認めてくれ、私は卒業と同時に店を継いだ。社員20余名、畳表や床、上敷等を造る小さな会社だが、すでに電力製畳機を開発、製床機を導入、業界の中では進歩的だった。私はまず株式会社組織にし、定款を自分で作った。高周波消毒機を設置、仕事と社員数の拡大、新工場の建設、取引先を京阪神から全国へ、ちょうど日本が今の世界経済大国への兆しを見せ始めた頃、私は寝る間も惜しんで働いた。大津で生まれ育ち、ここで一生を全うするだろう私。この故郷の人の為にも何か微力を捧げたいと思った時は40の半ばだった。折しも、藤沢閣下膳所高同窓会長から、「同窓会の会計をやれ」との命が下った。以後20余年同窓会役員として、先輩方と共に歩ませていただいた。2人の子供も膳所高に入学。私の恩師であり当時の横井学校長にPTAに引き込まれ6年間携わった。膳所高PTA会長に加え、滋賀県や全国PTAの会長や理事が当てられ、全国を走った。この事で文部大臣から思いもよらぬ表彰を受けたが、これは母校がくれたものだと思っている。その後、同窓会長に就任、創立90周年を挙行させていただいたが、当時の悪ガキ大将としては、これらは大きな喜びである。

時代は加速度的に変貌する。アメリカでは46歳の大統領が誕生した。もう、若者の時代である。私も第一線を退いた。挫折も屈折もあった。だが、思い出は案外温かい。後は孫と遊び、ゴルフをし、級友と集い、妻と世界中を旅しながら、気楽に暮らしたいと願う。同窓会も新しく変わるという。大いに結構。若い情熱と知性で大改革してほしい。私は何も言わず温かく見守りたい。大津市中央に在住。訪ねてください。「膳所」の仲間として語り、そして飲もう！

●プロフィール

岩崎 栄三
生年月日/昭和2年9月13日
学歴/旧制立命館大学法学部卒
(株)岩崎栄次郎商店代表取締役社長、膳所高同窓会会長 (S58~H2)、文部大臣表彰受賞 (S53)、法務大臣表彰受賞 (S61)、大津市市政功労表彰受賞 (H1)。
趣味/40歳まで野球一筋。今はゴルフ一筋 (のシングルプレイヤー)
現住所/大津市中央三丁目1-19



★いま活躍しています。

数多くのアーティストを発掘、育成！ 長戸大幸さん

昭和42年卒業（膳所高15回）

昭和53年、従来のレコード会社中心の音楽制作会社ではなくレコード会社の外部に存在する制作集団という形で、当時としては日本で初めてのレコード制作会社、株式会社ビーイングを設立いたしました。

その後、レコーディングスタジオ、デザインスタジオ、ビデオスタジオなどを開設し、より良い音楽制作活動が行なえる環境作りを目指して参りました。

さらに、アーティスト発掘・育成にも力を入れボーカルレッスンスクールやオーディションも常時行ない、数々のアーティストをデビューさせてきました。夏の代名詞ともなった感のあるTUBEや「おどるポンポコリン」の大ヒットで知られるB・Bクイーンズ、今日本で一番人気のあるバンドB'z、昨年の新人賞の数々を獲得し、紅白歌合戦にも出場したMi-Ke、同じく昨年デビューながら発売する作品すべてがロングセラーとなり、着実に安定した人気を築き上げたT-BOLANなど多くのアーティストの音楽制作及びプロデュースを手がけております。今年に入ってからKIX・S、ZARD、大黒摩季などが大ヒットを飛ばし注目を集めています。

この様に、音楽制作に至るまでの音楽ビジネスの全ての業務をグループ会社内で一貫して遂行できる体制を確立し、現在では関連各社約60社で各業務を行なっております。

また、個人としても音楽を愛してきた人間として、現在も作詞、作曲、編曲などの活動は並行して行なっております。代表作は『思い出の九十九里浜』/Mi-Ke、『ギンギラ・パラダイス』/B・Bクイーンズ (作詞) や『朝まで踊ろう』/Mi-Ke、『ビコウズ アイ ラブ ユー』/TUBE (作曲) などが上げられます。プロデューサーとしても数々のアーティストを手がけてまいりましたが、彼らが音楽誌のチャートの首位を占める様になった事は非常に嬉しい事であり、これからもアーティスト、スタッフと共に皆様に愛される音楽作りを目指し歩んでまいります。

●プロフィール

長戸 大幸
生年月日/昭和23年4月6日
出身地/滋賀県大津市
学歴/青山学院大学経済学部3年中退
血液型/A型
現在、ビーインググループの代表取締役
昭和53年、株式会社ビーイングを設立。
事業内容としては、レコード、CM、映画サウンド、プロデュースを含む音楽制作及び音楽著作管理などを行なっている。



あの人は今…。

近況 OB 報告



祝・JUNGIDO 第1号発刊

昭和39年卒業 (膳所高12回) (株)システムラボムラタ 代表取締役 川越 孝司	昭和38年卒業 (膳所高11回) ひさし寿し 田中 紘一	昭和35年卒業 (膳所高8回) (株)生美屋 取締役社長 荒木 光雄	昭和33年卒業 (膳所高6回) 塚本歯科診療所 院長 塚本 欣幸	昭和32年卒業 (膳所高5回) 駒音建設(株) 専務取締役 石川 功	昭和31年卒業 (大津東4回) (株)李兵衛造船所 取締役社長 仲野 守	昭和31年卒業 (大津東4回) (株)山田燃料 代表取締役 山田 護	昭和30年卒業 (大津東3回) 中山倉庫(株) 取締役社長 中山 安正	昭和30年卒業 (大津東3回) 太陽鋼機(株) 取締役社長 駒峯 貞夫	昭和30年卒業 (大津東3回) プリコ商事(株) 取締役社長 石川 義久
--	------------------------------------	---	---	---	---	---	--	--	---

復刊を祝して



常任顧問 あいさつ
校長 南池 宜樹

平素から本校の教育につきまして同窓会員の皆様方の深いご理解とご協力、ご援助を賜り厚く御礼申し上げます。

今年、明治五十年に学制が公布されてから百二十年という節目ですが、その間、明治三十一年創立の中等学校として、昭和二十三年からは学制改革によって新制高等学校として、本校は歩み続けてまいりました。二万八千余名の先輩方の遺された伝統を立派に受け継ぐよう、現教職員も一丸となって励んでいます。近年の社会の急激な進展・変化に対応するための高等教育課程の改定、昭和四十年代からの高校進学率の上昇と高校生徒の急増・急減、さらに今年から始まった月一回の学校五日制など高校へはいろいろな波が打ち寄せていますが、その中で自主自律の精神を培い、知・徳・体の調和のとれた人材育成を目指しています。先輩として同窓会員の皆様の温かい後輩へのご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



母・校・拜・見

“大きくくすの木の下で”

大きくくすの木を見上げながら、膳所高校の校門を、久しぶりにくぐる。運動場で真剣に走り回るサッカー部、左の端でボールを追うバレー部の元気な声、学生達の健康な姿が目にはいる。私の思い違いだろうか、私達の学生時代の方が運動場が横長だったせいか、もっと広がった様な気がする。

右に運動場を見ながら受付のある玄関までまっすぐに延びたアプローチ、富波先生を呼んでもらい部室の説明をしていただく。

その頃はガタビシの床と狭く暗い、そして思い出がいっぱい詰まると表現したい様な雰囲気部室だったが、目の前のバックネット裏には4年前に建てられたというツートンカラーで彩られた2階建の部室があり、外から見ると隔世の感のある明るいその建物は、今ではその名もクラブボックスだという。



内部を見せて頂くと、そこはたまたま野球部の部室で壁面いっぺいの棚に数えきれないほどのスパイクが整然と並べてある。

その左にはブロック造の女子部室があり、タタキのままの床が冷たそうで、せめてスノコを置いてあげたい気持ちになった。

体育館の方は5・4総体(昭和54年・総体の試合会場に使った)の時に改築されたとか。生徒たちの指導に余念の無い須田先生。バスケットボールの音とピカピカに光るコート、その昔の吹きさらしの体育館が目の前に重なって見えた。

改めて運動場を眺めてみる。なぜかさびしい校庭。富波先生の説明によると、やはり場所が狭く十分な練習ができないため、陸上部は陸上競技場へ、テニス部やバドミントン部は外部練習場へと、分散した練習になっているとのこと。自分の学校のグラウンドで心おきなく練習できるよう、1日も早い第2グラウンド設置の実現に向け、同窓の皆さんの惜しみない協力をお願いしたいものだと思いながら校庭を後にした。(高橋)

膳所高校 NEWS

学園祭

平成四年度の学園祭が、七月八・九・十日の三日間にわたって行なわれました。今年のスローガンは、「靴ひもを結び直し、白地図を手に。」「全員が一つのテーマに沿ってunitとして働こう」という目標のもとに、各クラブ・ブロックで意欲的な取り組みがなされました。期間中、体育館側壁に掛けられた大壁画「オールドリー・ヘップバーン」(写真)は、学園祭実行委員会が全校に呼びかけて空き缶約二千五百個を集め、二週間かけて完成させたものです。当日は天候にも恵まれて文化祭・体育祭共に例年に負けない盛り上がりを見せ、成功のうちに幕を閉じました。なお、文化祭で行なわれる模擬店の収益は、毎年福祉施設に寄与されることになっており、今年も、雲仙普賢岳救済基金及び民間養護施設「小鳩の家」に贈られました。



班活動

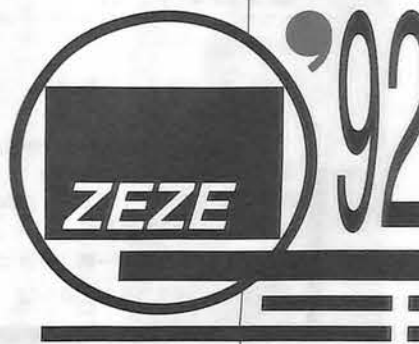


今年度も各班で活発な活動が行なわれており、多くの優秀な成績が取られています。

体育部では、漕艇班から浅野さんが世界ジュニア漕艇選手権大会に出場したのをはじめ、漕艇班・ヨット班・水泳班・陸上競技班・卓球班・硬式テニス同好会などが全国大会(国体・高校総体など)で活躍しています。また、剣道班・空手道班も、県大会で優秀な成績を収めて近畿大会へ出場しました。

文化部の方では、放送班がNHK杯全国高校放送コンテスト県大会の五部門で一位に入った他、化学班・物理地学班の研究が日本学生科学賞の県展で高く評価され、いずれも中央審査へ進んでいます。また、かるた班も、全国大会で決勝トーナメントに進出するなど、着実に力を伸ばしています。

近年、高校生のクラブ離れが著しいなど、クラブ活動に対する不安の声も耳にしますが、本校各班の活動状況を見る限り、人数の多少に関わらず真摯に取り組んでおり、膳所高校のモットーである「文武両道」の精神は、今も脈々と受け継がれていると言えますし(西川)



編集後記



● 投稿お待ちしています
俳句、短歌、詩、エッセイ、写真、etc. このごろ思うこと、最近心に残ったことなど、かたちにとらわれずふるっての投稿お待ちしております。(同窓会広報部まで)

● 平成五年度総会お知らせ
日時/平成五年五月九日(第二日曜日)
午前九時~午後四時
会場/大津市生涯センター・大ホール
諸兄弟のご参加、お待ちしております。

● 同窓会報 タイトル決まる
会報名「JUNGIDO(道義堂)」
谷本岩夫氏(旧職員)の、膳所高校らしい素敵なタイトルに決まりました。

- 上野滋子(東2) ・ 谷口啓司(膳10)
- 田中美津代(東4) ・ 佐田葉子(旧膳)
- 山田 勲(膳11) ・ 宮崎美恵(大3)
- 西谷智恵子(東2) ・ 高橋好乃(膳4)
- 花坂多恵子(膳6) ・ 平井敦子(膳11)
- 服部 章(膳12) ・ 林 一雄(膳15)
- 岩崎則子(膳26) ・ 吉田 稔(膳26)
- 西川綾子(膳28)

● いつの間にか、世の中は師走。今年ももう暮れようとしている。「縁起の良い申年であるように」と祈ったお正月はもう一年も前のこと。

● 世の中はバタバタと過ぎてきた。坊さんが走る。商売人が走る。受験生も走る。膳所高校の広報部員も大走り。ふうっ。

● 膳所高校新聞「JUNGIDO」第一刊がとうとう息がかりました。何と書いてもホッと一息。新米の広報部員たちが取材、編集、撮影と大忙しの末、やっと完成した、思い出の第一刊です。

● 今年から定期的にお届けすることになった「JUNGIDO」。どうか長い目でご愛読くださいませ。加えて、皆様の温かいアドバイスを不安いっぺいの広報部会までお願いします。

● 末筆ながら、本誌の不出来をお詫びし、来年は一層の研究、努力をお約束し、あわせて、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。どうかよいお年を...